



サード・ステージにおける成果と課題認識



1 サード・ステージ・プランの背景と構成

『サード・ステージ・プラン』 概ね10年間における学研都市の取組の方向性を示すもの

現状の課題

- ①都市としての総合力の発揮が不十分
- ②都市の賑わいや機能の不足
- ③クラスター整備の遅れ
- ④交通基盤整備の遅れ

理念の実現に向けて特に重視すべき点

サード・ステージ・プランの視点

- ①学研都市の**総合力**の強化
- ②交流連携を通じた**一体性**の確立
- ③**都市運営**に重点をおいた取組

取組の方向

- ①学研都市発の新たな文化・学術研究・産業の創造
- ②アジアをはじめ世界に拓かれた都市づくり
- ③未来を拓く知の創造都市の形成
- ④学研都市の活動を支える都市基盤及び交通基盤の整備促進
- ⑤「建設推進・高度な都市運営」への新たな展開

主な取組

- ・「持続可能社会のための科学」の推進
- ・産官学連携による新産業の創出 等
- ・国際化に向けた学研都市の活動展開
- ・国際化に向けた都市環境の整備
- ・良好な街並み及び都市サービスの向上
- ・学研都市における「フィールドの多様な展開」 等
- ・都市基盤の整備促進、未利用地の有効活用
- ・交通基盤の整備促進
- ・「関西全体で学研都市を支え・推進する体制」づくり 等

学研都市の理念

- ①文化学術研究の新たな展開の拠点づくり
- ②世界及び我が国の文化学術研究の発展並びに国民経済の発達への寄与
- ③未来を拓く知の創造都市の形成

新たな要請と課題

- ①新産業の創出
- ②創造的な都市活動の展開
- ③国際化に対応した都市の形成
- ④新たな都市運営の展開

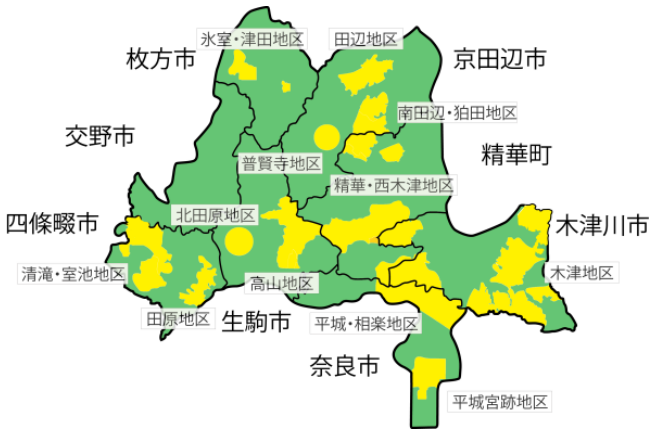


2 サード・ステージの到達点 ～ 人口

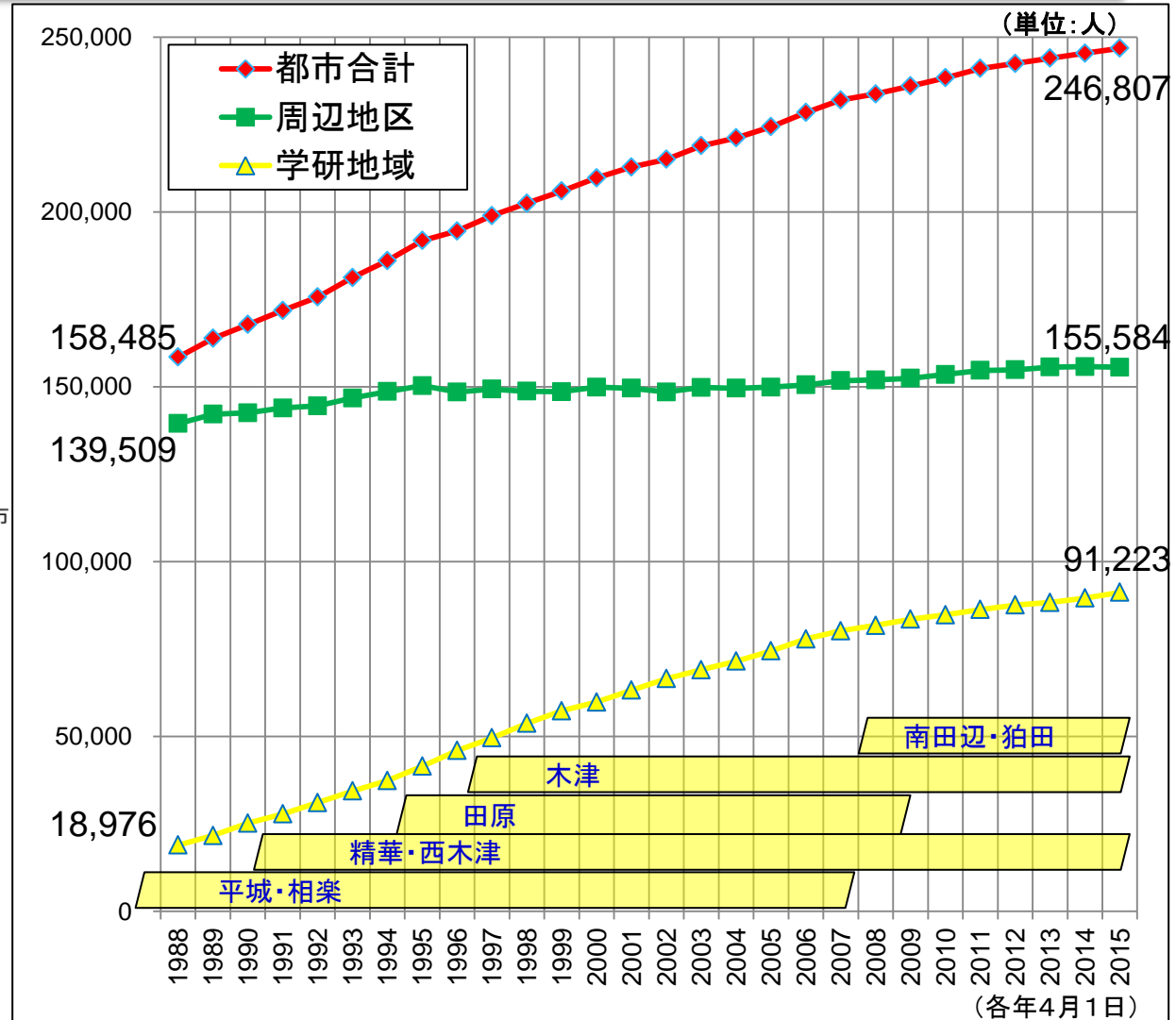
学研地区内人口は約9万人、都市合計では24.7万人に達している。

2015年4月1日現在

| | |
|--|----------|
| 学研地区 | 91,223人 |
| 周辺地区 | 155,584人 |
| 都市合計 | 246,807人 |

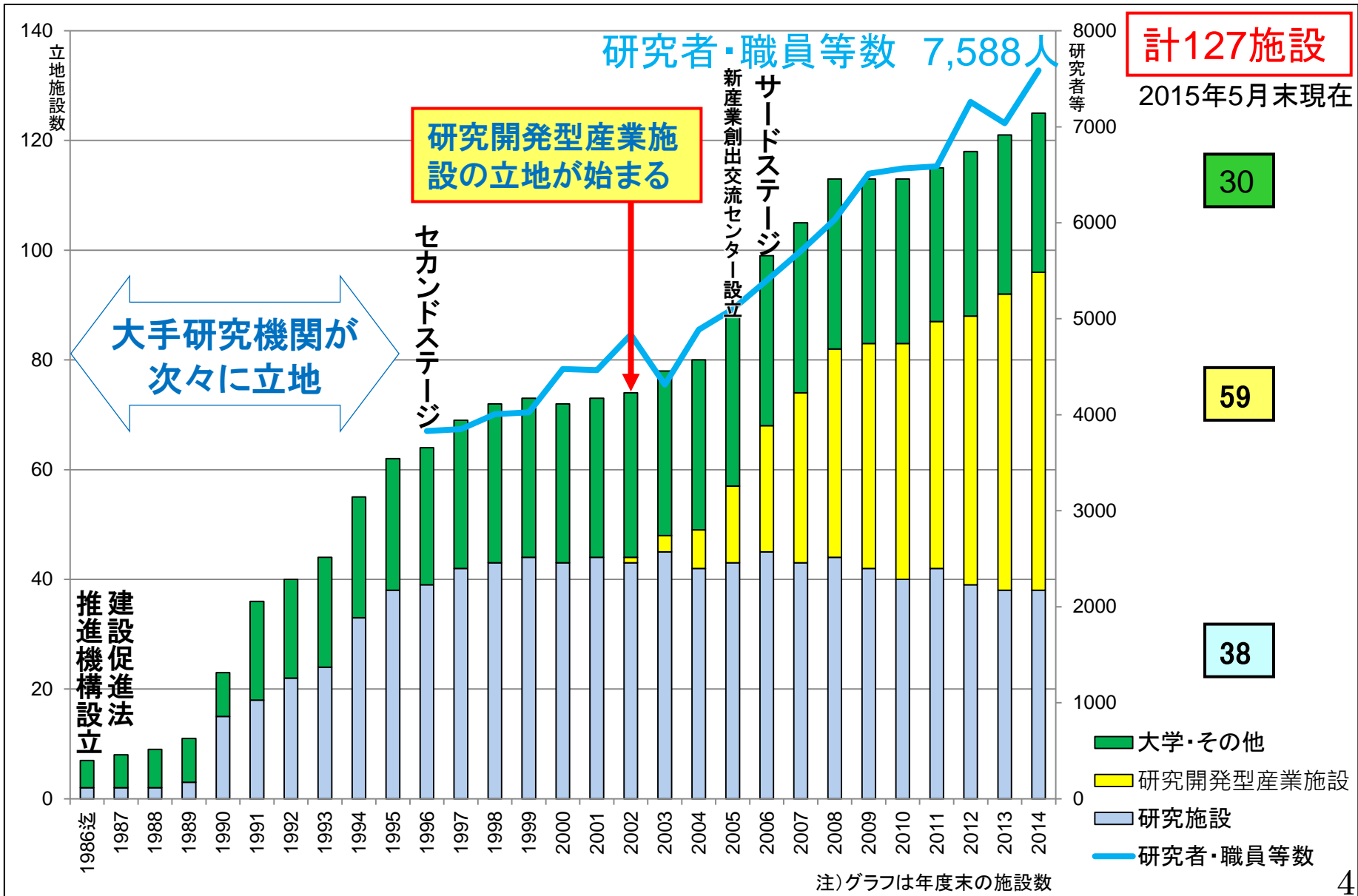


段階的、継続的に宅地造成が進められており人口は着実に増加。今後も人口増が見込まれる。





2 サード・ステージの到達点 ～ 立地機関





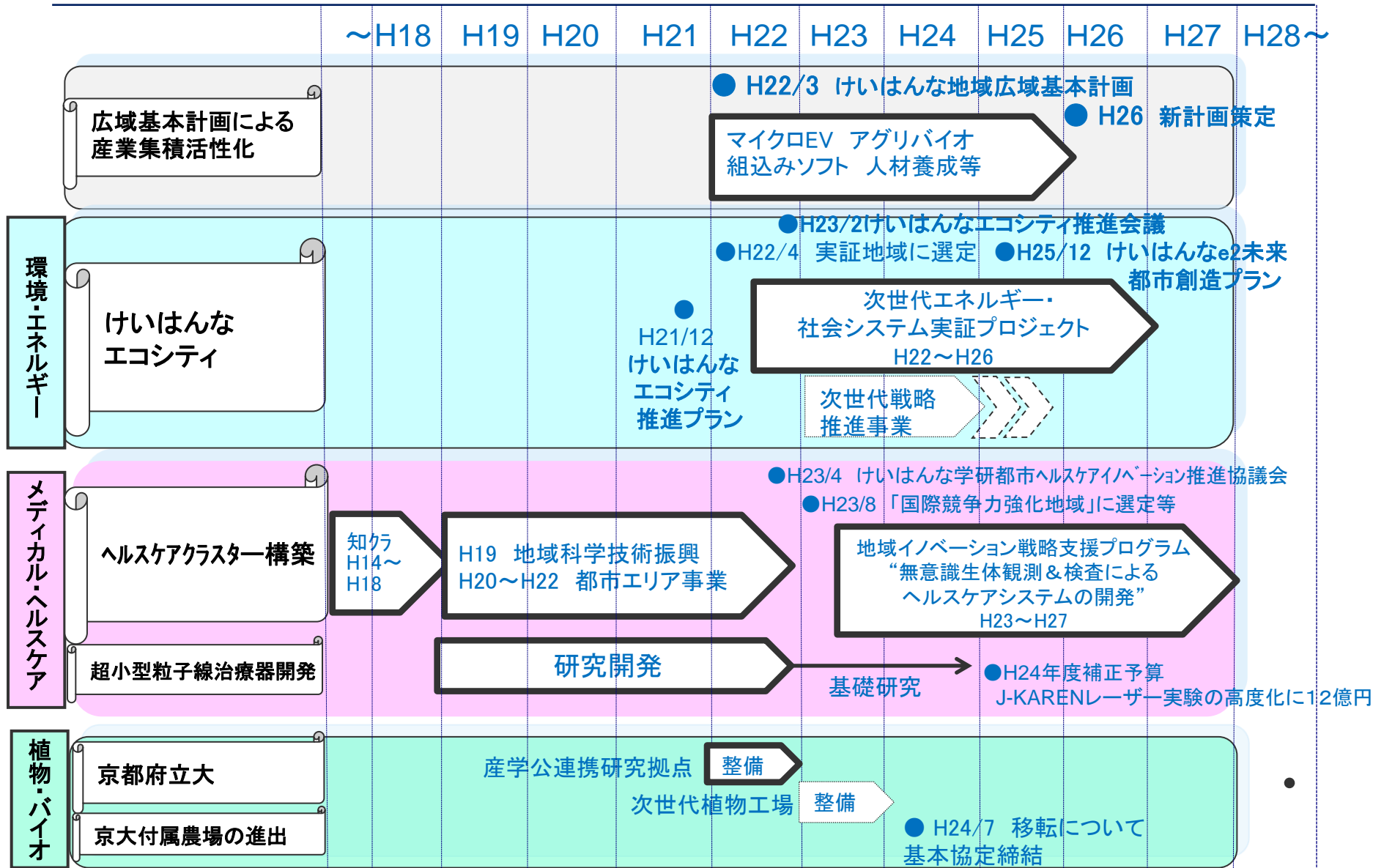
3 3つの視点から見た評価

① 学研都市の総合力の強化

| 総合力 | サード・ステージにおける到達点 | サード・ステージにおける取組事例 |
|----------------|---|--|
| 1) 文化学術研究機能の向上 | <ul style="list-style-type: none">◆ けいはんなの分野を広げる新たな研究機関等の立地・整備が進んだ◆ 研究開発型産業施設の立地が進んだ◆ 国際的研究開発拠点として、多様な分野で際立った研究成果が得られた◆ 文化拠点の高度化は一定程度進んだ | <ul style="list-style-type: none">● 京大付属農場、京都府立大精華キャンパス、大阪電通大、国会図書館関西館第二期推進、KICK等● バイオ大手企業、オンリーワン技術を持つ企業、ベンチャー企業等● 環境、情報通信、環境、ロボット、物質・光量子等の分野で研究成果● 平城宮跡の保存整備 |
| 2) 新産業の創出 | <ul style="list-style-type: none">◆ 産学官連携による新産業創出に取り組み、様々な実証事業等を展開した◆ 集積のメリットを活かした新産業創出の成果や仕組みは十分とは言い難い | <ul style="list-style-type: none">● 立地機関等による各種国プロジェクトの推進● 各種実証事業の推進● (次世代エネルギー・社会システム実証プロジェクト、ロボット分野等)● 各種研究会等の取組 |



《参考》産学官連携した研究開発の取組の例(主に推進機構が関与したもの)



凡例: は国費導入



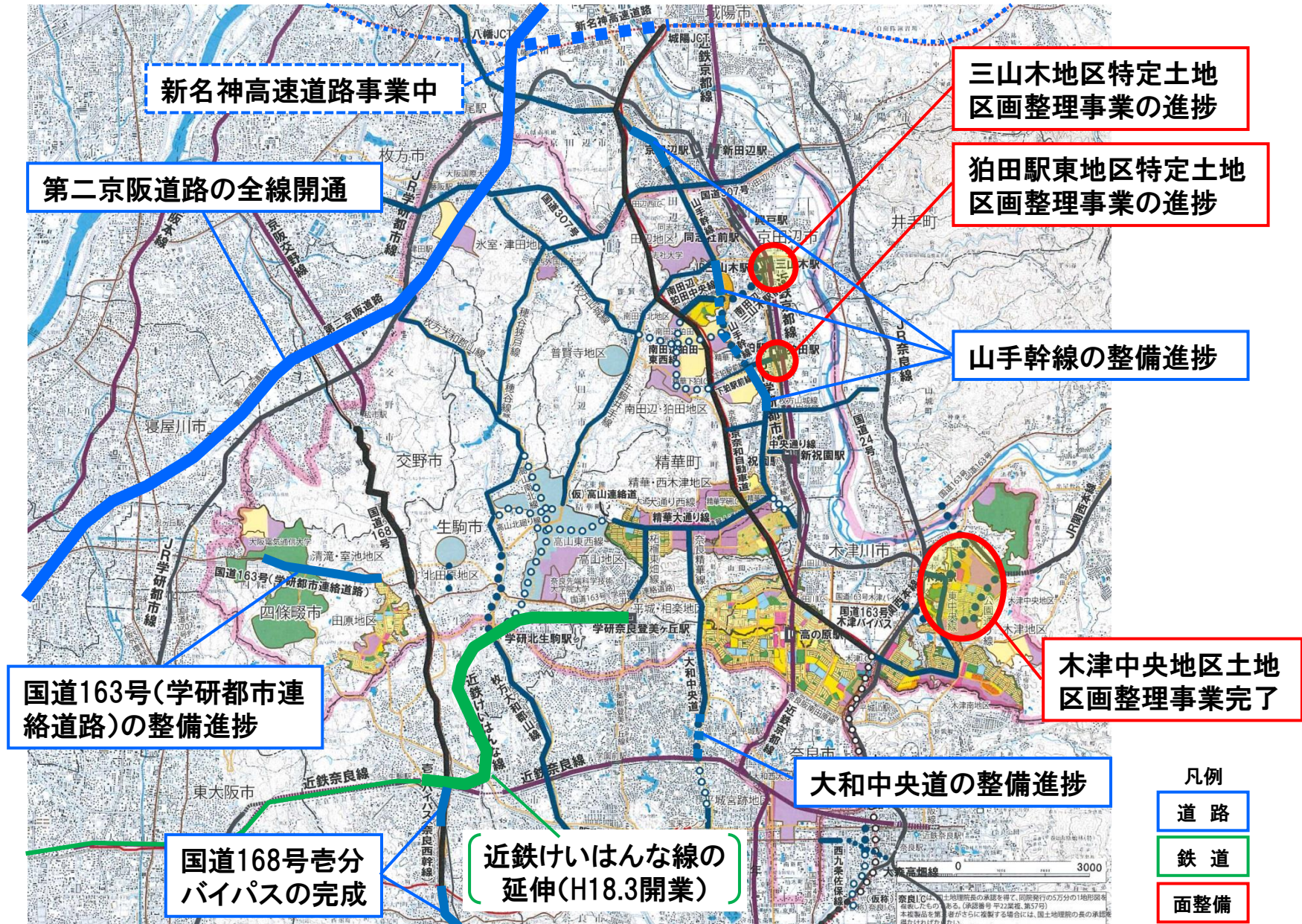
3 3つの視点から見た評価

① 学研都市の総合力の強化

| 総合力 | サード・ステージにおける到達点 | サード・ステージにおける取組事例 |
|----------------------|---|--|
| 3) 情報発信の強化によるブランドの確立 | <ul style="list-style-type: none">◆ 国内外での情報発信に取り組み、一定の成果があった◆ 学研都市の知名度は高いとは言い難い | <ul style="list-style-type: none">• 国際会議(スマートシティエキスポ^o等)の開催• 海外及び首都圏の展示会等への出展 |
| 4) 都市機能の向上 | <ul style="list-style-type: none">◆ 各クラスターでの商業・サービス施設等の整備が進み研究者、住民の利便性が一定程度向上◆ 外国人研究者向け教育、滞在環境など国際化に向けた環境整備が進んだ◆ 外国人研究者の受け入れ態勢が十分とは言い難い◆ 都市基盤の整備が進んだ◆ 未整備クラスターの整備や交通アクセス向上等の課題が残されている | <ul style="list-style-type: none">• 商業施設: イオンモール奈良登美ヶ丘、イオンモール高の原、せいかガーデンシティ、ガーデンモール木津川等• 医療施設: 学研都市病院• 同志社国際学院の開校• 外国人研究者の家族の滞在施設確保(大学施設、UR住宅等)• 都市基盤整備⇒次図 |



《参考》都市基盤整備の進捗 (主なもの)





3 3つの視点から見た評価

② 交流連携を通じた都市の一体性の確立

| 一体性 | サード・ステージにおける到達点 | サード・ステージにおける取組事例 |
|---------------|---|--|
| 1) 広域的な交流連携 | <ul style="list-style-type: none">◆ 特区指定など関西の広域的取組が進んだ◆ 拠点間の連携は十分とは言い難い◆ 海外サイエンスパークとの交流や研究・ビジネスの国際交流が行われた◆ 国際交流の本格的な活動に至っているとは言い難い | <ul style="list-style-type: none">• 関西イノベーション国際戦略総合特区、国家戦略特区(関西圏) ナレッジキャピタル等との連携• 中国、台湾のサイエンスシティと交流協定締結• 日台環境ビジネス合同会議開催などのビジネス交流 |
| 2) 多様な交流機会を創出 | <ul style="list-style-type: none">◆ 学研都市の資源を活かした多様な交流活動が展開された<ul style="list-style-type: none">• 研究者、市民、NPO、子ども、横断的な交流 | <ul style="list-style-type: none">• けいはんな情報通信フェア、立地機関によるオープンハウス等• 高山サイエスタウンフェスティバル等• 若手研究者交流会、市民公開講座• けいはんなプラザの各種イベント等• 農のまちづくり、里山保全の取組• 科学のまちのこどもたちプロジェクト外⇒けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク• ゲーテの会(高等研) |



3 3つの視点から見た評価

③ 高度な都市運営に重点をおいた取組

| 都市運営 | サード・ステージにおける到達点 | サード・ステージにおける取組事例 |
|-----------------------------|---|--|
| 1) 「関西全体で学研都市を支え・推進する体制」づくり | <ul style="list-style-type: none">◆ 関西の有識者会議に向けた学術委員会を開催した◆ 学研都市を関西全体で支える体制づくりに至っているとは言い難い | <ul style="list-style-type: none">• 学術委員会(H1～21) |
| 2) 「学研都市を一体化した新たな運営組織」づくり | <ul style="list-style-type: none">◆ 協議会等の組織により3府県8市町にまたがる横断的な活動を推進した◆ 学研都市全体の統一的で強力な運営体制づくり至っているとは言い難い | <ul style="list-style-type: none">• けいはんな学研都市活性化促進協議会• けいはんな地域産業活性化協議会• 関西文化学術研究都市サード・ステージ推進会議 |
| 3) 学研都市全体の「産学官連携組織」の構築 | <ul style="list-style-type: none">◆ 他の研究機関等との連携強化、運営組織の充実等による学研都市全体の産学官連携組織の構築に至っているとは言い難い | |



4 サード・ステージ全体を通じた評価

サード・ステージの主な成果

- ◆ 着実な開発・基盤整備の進展
- ◆ 人口の増加
- ◆ 研究施設、研究開発型産業施設の着実な増加による多様性・厚みの向上
- ◆ 住民が参加する多様な実証事業の推進
- ◆ 特区等を通じたオール関西の一体的な戦略推進に貢献
- ◆ 多様な交流の展開



十分に達成できなかった主な点

- ◆ 集積のメリットを活かした新産業創出の成果や仕組みの構築
- ◆ 交通アクセスの向上
- ◆ 都市運営の統一的で強力な推進体制の構築

長期的な視点での課題認識

- ◆ 多様な施設立地を踏まえたイノベーションの一層の推進
- ◆ 学研都市の一体性の向上や関西における役割の強化に資する都市形成の推進
- ◆ 科学技術と住民生活・文化の融合
- ◆ イノベーションの推進や都市形成を支える「高度な都市運営」のための仕組みの構築



(参考)サード・ステージ・プランの策定、推進に関する主な経緯

策定

| 年度 | 事項 |
|-----|--|
| H16 | 9月 関西文化学術研究都市の明日を考える懇談会を設置 3月 上記懇談会が、提言「関西文化学術研究都市の明日に向けて」を取り纏め |
| H17 | 8月 関西文化学術研究都市サード・ステージ・プラン策定委員会を設置 3月 上記委員会が、サード・ステージ・プランを策定 |

関西文化学術研究都市の明日を考える懇談会



関西文化学術研究都市サード・ステージ・プラン策定委員会

推進

| 年度 | 総会 | 委員会 | 備考 |
|-----|-----------|---|----------------------------------|
| H18 | 11月 第1回総会 | 12月 第1回基本政策委員会 2月 第2回基本政策委員会 3月 第1回推進企画会議 | 11月「サード・ステージ推進会議」設立 |
| H19 | 9月 第2回総会 | 8月 第3回基本政策委員会 1月 第4回基本政策委員会 3月 第2回推進企画会議 | 4月「基本方針」の変更(第3回) |
| H20 | 4月 第3回総会 | | 8月 京都府「建設計画」変更 3月 奈良県「建設計画」変更 |
| H21 | 12月 第4回総会 | | 7月 大阪府「建設計画」変更 |
| H22 | 10月 第5回総会 | 6月 第1回推進委員会 10月 第2回推進委員会 | 7月「次世代エネルギー・社会システム実証地域」指定 |
| H23 | 7月 第6回総会 | 7月 第3回推進委員会 | 12月「関西イノベーション国際戦略総合特区」シテイ |
| H24 | 7月 第7回総会 | 10月 第4回推進委員会 | |
| H25 | 7月 第8回総会 | 7月 第5回推進委員会 | 5月 京都府「建設計画」変更 |
| H26 | | 2月 第6回推進委員会 | 6月 奈良県「建設計画」変更 |

関西文化学術研究都市サード・ステージ推進会議

総会

推進委員会